平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名　株式会社 王将フードサービス　　上場取引所　東
コード番号　9936　URL　http://www.ohsho.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大東　隆行
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長　(氏名) 内田　浩次　TEL 075-592-1411

四半期報告書提出予定日　平成25年8月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	18,110	2.3	1,658	△14.0	1,742	△11.7	821	△28.1
25年3月期第1四半期	17,705	3.8	1,929	△7.2	1,973	△2.4	1,143	1.1

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　1,279百万円　(10.1%)　25年3月期第1四半期　1,162百万円　(△6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	40.72	―
25年3月期第1四半期	56.64	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	60,277	39,277	65.2
25年3月期	59,260	39,007	65.8

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　39,277百万円　25年3月期　39,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	30.00	―	50.00	80.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		40.00	―	40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,708	5.1	4,360	△2.4	4,461	△1.9	2,578	△1.7	127.72
通期	78,427	5.5	8,650	△1.8	8,849	△2.5	5,112	3.8	253.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	23,286,230 株	25年3月期	23,286,230 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,099,828 株	25年3月期	3,099,828 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	20,186,402 株	25年3月期1Q	20,186,417 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
４．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

＜ 連 結 経 営 成 績 サ マ リ ー ＞			
	金額	構成比	前年同期比
売上高	18,110 百万円	100.0 ％	2.3 ％増加
営業利益	1,658 百万円	9.2 ％	14.0 ％減少
経常利益	1,742 百万円	9.6 ％	11.7 ％減少
四半期純利益	821 百万円	4.5 ％	28.1 ％減少
・ 全店客数前年同期比３．３％増(既存店２．７％減)…直営店実績			
・ 既存店売上高対前年同期比２．８％減収…直営店実績			

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策等を背景に円安株高が進行し、一部個人消費や生産・輸出、民間設備投資の持ち直しの動きもあり、景気の底打ち感が見られます。一方で、電気料金の値上げや来春に予定されている消費税率の引き上げに加え、国外では中国の投資主導型成長が限界を迎えているとも予想される等、先行き不透明なまま推移しております。

外食業界におきましては、雇用所得環境は依然として改善には至っておらず、為替の変動や電気料金の値上げ等による材料費の高騰、また空梅雨の中、経験のない大雨による広い範囲での土砂災害と浸水被害も相まって野菜が高騰し、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下当社グループは、より美味しく、より早く、より健康に、そしてより安全かつ衛生的な食事処としての原点を磨き続けながら、高付加価値の商品やおもてなしをお客様にご提供出来るよう、調理技術向上を目的とした毎月の重点料理やフェアの実施、全従業員を対象とした接客研修等を実施して参りました。

また、2013年スローガンである「自己改革　輝くまで磨きぬけ人間力」のもと、グローバルに考えてローカルに徹底したアイデアが重要となってきており、きめ細かなニーズに対応した多品種少量生産が求められる現代に対応できるよう、全従業員の知識労働への意識改革に努め、「有り難う御座います」の言葉が日々溢れる店舗を追求して参ります。

店舗展開の状況につきましては、当連結会計年度の出店計画に基づき、関東、関西地区を中心に直営７店、フランチャイズ（以下ＦＣという）２店の新規出店を行っております。これにより期末店舗数は、直営449店、ＦＣ225店となりました。

① 売上高

連結売上高は、前年同期に比べて４億５百万円（2.3%）の増収で181億10百万円となりました。

② 営業利益

新店効果による増収がありましたが、材料費の高騰、電気・ガス代や人件費等の増加により、前年同期に比べて２億70百万円（14.0%）減少し、16億58百万円となりました。

③ 経常利益

上記理由等により、前年同期に比べて２億31百万円（11.7%）減少し、17億42百万円となりました。

④ 四半期純利益

上記理由や、投資有価証券評価損に対する繰延税金資産に係る評価性引当額の増加等による法人税等の負担率のアップ等により、前年同期に比べて３億21百万円（28.1%）減少し、８億21百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第１四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ10億16百万円（1.7%）増加し、602億77百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ８億11百万円（6.5%）増加し、132億41百万円となりました。主な要因は現金及び預金の増加等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ２億５百万円（0.4%）増加し、470億35百万円となりました。主な要因は投資有価証券の増加等であります。

（負債の部）

当第１四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ７億46百万円（3.7%）増加し、210億円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ２億88百万円（2.3%）減少し、120億80百万円となりました。主な要因は未払法人税等の減少等であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ10億35百万円（13.1%）増加し、89億19百万円となりました。主な要因は長期借入金の増加等であります。なお、借入金の残高は110億74百万円となりました。

（純資産の部）

当第１四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ２億70百万円（0.7%）増加し、392億77百万円となりました。主な要因は配当金の支払い10億９百万円による減少に対し、四半期純利益８億21百万円の増加に加え、その他有価証券評価差額金の増加等であります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の65.8%から65.2%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第１四半期末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ７億69百万円増加し、114億29百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期より３億61百万円（40.6%）増加し、12億51百万円となりました。主な要因は法人税等の支払額の減少であります。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益16億97百万円に減価償却費７億84百万円等を加えた額から法人税等の支払額17億44百万円等を減じた額であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同期より４億97百万円（42.7%）減少し、６億68百万円となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出の減少であります。

主な内訳は、有形固定資産の取得による支出７億33百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、前年同期より13億19百万円（87.8%）減少し、１億83百万円となりました。主な要因は借入金の純増加額の減少であります。

主な内訳は、借入金の純増加額11億93百万円等による収入、配当金の支払額10億９百万円等による支出であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当初（平成25年５月14日決算発表時）の見通しに対して、業績予想は変更しておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,697	11,470
売掛金	202	183
商品及び製品	91	96
原材料	225	245
その他	1,228	1,254
貸倒引当金	△14	△9
流動資産合計	12,430	13,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,019	43,528
減価償却累計額	△28,551	△29,047
建物及び構築物（純額）	14,467	14,480
機械装置及び運搬具	2,848	2,853
減価償却累計額	△1,976	△2,032
機械装置及び運搬具（純額）	872	820
工具、器具及び備品	3,908	3,991
減価償却累計額	△3,162	△3,232
工具、器具及び備品（純額）	746	759
土地	21,580	21,580
建設仮勘定	345	272
有形固定資産合計	38,013	37,914
無形固定資産	52	46
投資その他の資産		
投資有価証券	1,771	2,126
差入保証金	4,486	4,450
その他	2,564	2,556
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	8,764	9,074
固定資産合計	46,830	47,035
資産合計	59,260	60,277

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,798	1,596
短期借入金	210	－
1年内返済予定の長期借入金	4,435	4,798
未払法人税等	1,832	879
賞与引当金	582	208
その他	3,509	4,597
流動負債合計	12,369	12,080
固定負債		
長期借入金	5,235	6,275
退職給付引当金	450	422
資産除去債務	613	631
その他	1,584	1,589
固定負債合計	7,884	8,919
負債合計	20,253	21,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,166	8,166
資本剰余金	9,031	9,031
利益剰余金	30,480	30,293
自己株式	△5,016	△5,016
株主資本合計	42,662	42,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330	784
土地再評価差額金	△3,987	△3,987
為替換算調整勘定	2	5
その他の包括利益累計額合計	△3,654	△3,197
純資産合計	39,007	39,277
負債純資産合計	59,260	60,277

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	17,705	18,110
売上原価	5,158	5,309
売上総利益	12,547	12,801
販売費及び一般管理費	10,617	11,142
営業利益	1,929	1,658
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	18	21
ＦＣ加盟料	29	28
受取地代家賃	16	16
受取保険金	4	28
雑収入	7	15
営業外収益合計	78	110
営業外費用		
支払利息	13	12
賃貸費用	7	6
雑損失	12	8
営業外費用合計	33	27
経常利益	1,973	1,742
特別損失		
固定資産除却損	25	44
特別損失合計	25	44
税金等調整前四半期純利益	1,948	1,697
法人税、住民税及び事業税	902	840
法人税等調整額	△96	35
法人税等合計	805	875
少数株主損益調整前四半期純利益	1,143	821
四半期純利益	1,143	821

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,143	821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	454
為替換算調整勘定	1	3
その他の包括利益合計	19	457
四半期包括利益	1,162	1,279
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,162	1,279
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,948	1,697
減価償却費	741	784
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2	△5
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△17	△27
受取利息及び受取配当金	△20	△23
支払利息	13	12
固定資産除却損	25	44
たな卸資産の増減額（△は増加）	△29	△24
仕入債務の増減額（△は減少）	△201	△202
未払消費税等の増減額（△は減少）	41	120
その他	445	608
小計	2,948	2,985
利息及び配当金の受取額	20	23
利息の支払額	△14	△12
法人税等の支払額	△2,064	△1,744
営業活動によるキャッシュ・フロー	890	1,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	4	△3
有形固定資産の取得による支出	△1,135	△733
貸付けによる支出	△3	△53
貸付金の回収による収入	24	126
差入保証金の差入による支出	△93	△27
その他	37	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,165	△668
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	840	△210
長期借入れによる収入	3,258	2,865
長期借入金の返済による支出	△1,989	△1,462
自己株式の取得による支出	△0	－
配当金の支払額	△605	△1,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,502	183
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,228	769
現金及び現金同等物の期首残高	8,869	10,660
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,097	11,429

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第１四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）

該当事項はありません。